

九州

九州支社

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前
3-9-1 大賀博多駅前ビル
電話 092-471-6118
FAX 092-471-6119

kyushu
@kensetsunews.com

建コン協

熊本市に表彰制度要望

自治体との意見交換スタート

建設コンサルタンツ協会九州支部(田中清支部長)が毎年実施している九州沖繩8県3政令市との意見交換会が、10月29日の熊本市を皮切りに始まった。各地方自治体への個別要望のほか、▽担い手の確保・育成のための環境整備▽技術力による選定▽品質の確保・向上の3つの共通項目を討議する。熊本市には、担い手確保・育成の観点から表彰制度の導入を要望した。

この日は、同支部から田中清永健介総務局契約監理部長らが出席した。市への個別要望は、歩掛り見積もり徴集時の予定価格の設定、業務成績の評価制度の公表と表彰制度の導入、複数受注制限の緩和、測量作業における熱中症対策の費用取り扱いの4項目とした。

標準積算基準書には記載されていない特殊業務などで事前に見積もり徴集して予定価格を決定する場合、市は熊本市とともに「最低値」を採用



熊本市とはウェブで開催した

市は業務成績評価制度を20年4月に導入した。次のステップとして公表や表彰制度への活用を求めている。市は課題としている評価のばらつきを解消した上で、

本格運用として24年度に公表するといった今後のスケジュールを示した。表彰制度への活用も研究する方針だ。

複数受注制限として、市では1件の業務を受注し、業務完了するまでその企業を指名しない「1件縛り」を採用している。この日は、発注量や業者数などの情報を共有した。測量作業における熱中症対策では、工事同様の現場管理費の補正を要求。市は、国の通知があれば対応すると回答した。

共通議題の担い手の確保・育成では、適正な工期の設定と納期の平準化を討議した。市の20年度発注の第4四半期に占める納期の割合は71%と、九州の県政令市の中でも

取り組みが遅れている。これを踏まえ、協会が目標を設定するなどして計画的に進めることを求めた。技術力による選定では、評価の難しさや作業量の増加などで二の足を踏む市に対して、技術提案を求めず業務評点や地域貢献などで評価する他県の事例を紹介した。

意見交換会は福岡市、長崎県と続き、12月24日にかけて実施する。感染症対策としてウェブ会議を一部の自治体で導入し、沖繩県とは書面で実施する。

田中支部長は、「データを示し、具体的に提案したい。技術力による選定についてはすべての自治体に強く要望したい」と方針を示した。